

刊夕日五十月十



澤田一等兵

(植田町出身の)

北支で名譽の負傷
生家は父も伯父も軍人

石城郡植田町の仁井田字辰の

口桂吉氏長男澤田龍熙君は北支戦線の本多部隊下に奮戦さ

れれたが名譽の負傷せる旨

桂吉(四四)氏及び母きみ(四四)さ

んは共に

先月末戦地から元氣で思ふ

も悲しんでくるなど手紙

がありました。うんと働い

てくれたどうと思ふと却

弟の不明に兄の志願
身代りは罷ならぬ云はれ

福島聯隊區から放送局へ

石城郡高久村の下高久字八幡

農志賀季三郎(四〇)氏は騎兵一

等兵の弟武(三五)が最近の召集

令に所在不明の爲め應召出来

ない爲め氣が氣でなく昨十四

日平署に出頭し渡邊兵事係に

弟の不心得が申譯がないから

してくれと歎願したが此の

騎兵上等兵である私を身代り

る

石城山間地の

黄金の波

非常時ナンセンス
ノラクロ上等兵

魚行商で貯めた十圓を携へ

無斷家出の十八少年

感問費へ金一圓

郵便競技會

郵便競技會

郵便競技會

郵便競技會

郵便競技會

千八百圓のボイラー
詐欺の片割れ捕はる

手引の報酬に約三百圓

中堅農講支部の
総會ご農事講演戸渡部落
立派な自給自足石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同地分教場に於て催され郡農會
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十二日同村小學校に石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同地分教場に於て催され郡農會
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十二日同村小學校に石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同地分教場に於て催され郡農會
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十二日同村小學校に石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同地分教場に於て催され郡農會
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十二日同村小學校に石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同地分教場に於て催され郡農會
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十二日同村小學校に石城郡入野村の石城郡農中
堅農民講習會同窓會支部の總石城郡小川村の戸渡部落懇談
会は去る十日午後二時がら同山草松
今年は各所共に
平市附近に於ける適地

見事な成績

慰問費献金

細るばかりの小

川村の横川部落

石城郡農會では柴田技手出張

古往の跡跡で近年まで薪炭の

懇談會を開催したが同地は

市驛檻内にうろくしてゐる

ところを半畠良に捕へられ取

調べの結果右の次第と判り尚

て昨日無断家出し町内の

ほ華かな軍姿で矢吹町に居る

叔父の許まで行くつもりであ

つたと語り其の不心得を署員

に論されて假裝の上等兵が平

署で泣き出してしまふ笑ひの

形を演じ今十五日家人を呼び

出しても今後をさとして引渡さ

れた

に論されて假裝の上等兵が平

署で泣き出してしまふ笑ひの

形を演じ今十五日家人を呼び

出しても今後をさとして引渡さ

れた

に論されて假裝の上等兵が平

署で泣き出してしまふ笑ひの

形を演じ今十五日家人を呼び

出しても今後をさとして引渡さ

れた

に論されて假裝の上等兵が平

署で泣き出してしまふ笑ひの

形を演じ今十五日家人を呼び

出しても今後をさとして引渡さ

れた

平市の秋季

催したが多数の選舉があつた

於て秋季運動會を開催時局柄

五丁目新川町南町東部

木町銀台南町西部

保胡摩澤北町月見大工

堤八幡小路北目

城跡大町南白

銀鐵道管

立町

舊屋

田町一丁目二丁目

五丁目新川町南町東部

北白銀仲間立町

月見大工

南白

下平塙中鹽四波幕

鰐岡

大室以上

内

平市の秋季

平市の秋季

號十八百千三第 (可認物復郵種三第)

A decorative horizontal border at the bottom of the page, featuring a repeating pattern of stylized floral or leaf-like motifs in a dark color.

(日曆上)

以上が長野縣立農事試驗場の薬劑防除成績であるに見て包虫の驅除には幼虫期をねらふことが最も効果的であるから同發生初期早々の八月上旬ごろに薬剤撒布を行ふべきである(終り)

なく四万五千三百疋の包虫を
発見すと云ふ成績を示したが
一般農家が繁忙の爲め藥劑撒
布時期を八月中旬以後に遅ら
せることとは徒然に勞資を費消
するのみで何等効果のないこ
とが判明した譯である、

百疋にすぎなかつたが不撒布には三萬七千八百五十疋と云ふ驚くべき苟虫を發見してゐる、また八月十二日に撒布した試験區は七千六百五十疋となり、すつと遅れて二十日に撒布したところは殆んど効果

液に硫酸銅六十匁を加へ更にロジンソーブ二合を混合したる液を一反歩當り八斗から九斗を撒布するのであるがこの成績を見ると、八月二日撒布したる水田一反歩當りには僅かに苞虫は九

黒桃原木の研究は日向陽市野で
で三ヶ年間に亘る研究結果を
發表し農家に一大示唆を與へ
たが同試験成績を上ぐれば次
の如くである、

が最も効果がある。
夏季に於て各地が冒される
稻の苞虫被害は本年長野縣下
が最も甚だしく收穫に及ぼす
影響を憂慮された同縣農事試
験場では昭和十年以來下水内
郡卯辰村の稻畠三方余式食地

便利で
經濟な
日下家政婦會の
和洋銅鐵、金物問屋
店 商 庫
九九・九

婦人科醫院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥劑師 大岩俊雄
樂局

平市新川町九一

入院隨意 病室完備

木村病院

電話 一六四三

<img alt="A vintage Japanese medical advertisement for Dr. Kuroiwa Iriemon. The top half features large vertical text for '專皮膚科' (Specialized Skin科) and '泌尿器科' (Urology科). Below this is a box containing '診療' (Treatment) and '午前八時より 午後九時まで' (From 8 AM to 9 PM). The bottom half features a decorative wavy line above the text '江尻醫院' (Kōshi Hospital). To the left, vertical text reads '醫學博士 江尻伊三郎' (Medical Doctor Kōshi Iriemon) and '市田町 電話六九一七番' (Address: Ichida-cho, Phone: 6917).</div>